

地域の魅力の再発見、磨き上げプロジェクト

FAQ

Q1 異なる団体が共同で応募することはできますか。

A 可能です。公募要領に定める対象団体同士であれば共同で応募できます。その場合は代表団体を定め、共同実施体制表（様式4号）を提出してください。

Q2 既に実施している事業でも応募できますか。

A 原則応募可能ですが、補助金を活用している場合は状況に応じて判断させていただきます。国や地方公共団体等、行政の補助金を活用している事業については事前にお申し出ください。

Q3 補助金事業ですか。

A 補助金を交付する事業ではありません。県がアドバイザーの派遣やワークショップ開催等を支援し、県・実施主体・アドバイザーの協働により事業を進めます。

Q4 どのような取組が対象になりますか。

A 本プロジェクトでは、地域資源の再発見や磨き上げにつながる取組を幅広く募集しています。県としては、例えば、

- 新たな食・グルメ開発
- 観光ルート開発
- 地域コンセプト開発
- 地域ブランドづくり

などを想定していますが、これらに限定するものではありません。

地域の皆様だからこそ気づくことのできる魅力や強み、地域課題の解決につながる新たな視点やアイデアを歓迎します。地域資源の活用や魅力発信、地域への愛着や誇りの醸成につながるものであれば、上記以外の提案についても積極的にご応募ください。

また、応募にあたっては必ずしも取組内容が完成している必要はありません。地域に眠る魅力や可能性を掘り起こしながら、県やアドバイザーとともに検討を深めていくことを想定していますので、「こんなことができるのではないか」という段階のアイデアについてもお気軽にご提案ください。

Q5 ワークショップには何人程度参加する必要がありますか。

A 一律の人数要件はありません。地域資源に関係する多様な主体の参加を推奨します。

Q6 会場使用料等は県が負担しますか。

A ワークショップの会場使用料や備品等は県が負担します。

Q7 参加者の交通費は対象になりますか。

A ワークショップ参加者の交通費等は自己負担となります。

Q8 アドバイザーからどのような支援を受けられますか。

A ワークショップのファシリテーター及び地域資源の評価・磨き上げ、コンセプト設計、コンテンツ開発、プロモーション方針等について助言を受けることができます。

Q9 応募後の流れを教えてください。

A プレゼンテーション審査を経て実施主体を決定します。採択後は県及びアドバイザーと協働してプロジェクトを進めます。

Q10 審査ではどのような点が評価されますか。

A 主に以下の観点で審査を行います。

- 実現可能性
- 持続可能性
- 将来性
- 着眼点・独自性
- 実効性
- 意欲・熱意

などを総合的に評価します。

Q11 採択後、具体的に何を行えばよいですか。

A 主に以下を想定しています。

- 県・アドバイザーと協議のうえ実施スケジュール（ワークショップ及び報告会の実施時期・回数等）を決定
- ワークショップへの参加及び地域関係者への参加呼びかけ
- 地域資源に関する情報提供
- ワークショップにて決定したまちづくりの方向性の実現化